

## 看護師インタビュー



### 美濃病院で働くきっかけ・・・

私が看護師になろうと思ったのは、子育て真っ最中の 30 代のときでした。一生涯の目標を持って、誰かの役に立てる仕事をしたいと考えたからです。

子育てをしながらの 4 年間の大学生活はあっという間に過ぎました。いざ就職先を考えたときに一番大事に考えたのは、今まで支えてくれた家族や地域の人、友人の役に立ちたい、支えになりたいということでした。

そこで私が選んだのは、生まれ育った美濃市で地域医療に積極的に取り組んでいる美濃病院でした。

### 患者さんを心身ともに癒したい・・・

就職すると、配属先が外科病棟になりました。病棟で手術された患者さんの看護を毎日おこなっているなかで、患者さんの中には身体的に治癒したとしても心が治癒しない方が多いことに気付かされました。

特に乳がん患者さんは、乳房を失うという身体的だけでなく精神的な喪失感からネガティブな感情を抱きやすく、外出機会も減少することには同性として心を痛めました。

そこで、患者さんの心のケアをもっと行いたいと取り組みましたが、経験も知識も不足していることにジレンマを感じていました。

就職して 5 年が経過したときに、一念発起！

「大学院に行って知識を深めたい」と思うようになってきました。

しかし、勤務の調整が大変だったり、本当に働きながら勉強が出来るのかと不安になったりで迷っていました。そんな思いを直属の師長に話したところ、「勤務調整は任しといて」と快く背中を押してくれました。病院の先輩には、私と同じように子育てをしながら大学院を終了した人や、認定看護師を取得した人が何人もいます。

幸い自宅から通学でき、仕事をしながら通学できる大学院を受験したところ合格することができました。

大学院では授業や研究など充実した学生生活を行っていますが、仕事・家事・勉強をこなすことは大忙しです。私も成長したい、患者さんの心に寄り添える看護師になりたいと毎日奮闘中です。



#### 職場の仲間で取り組む駅伝大会・・・

趣味は料理とランニングです。

料理はインスタグラムに投稿しているうち、出版社の目にとまり料理本の 1 ページに掲載されました。インスタグラムに自信作を掲載しています。多くの人に見ていただければ嬉しいです。(tommy-apricot25)

病院の仲間に誘われて始めたランニングは毎日の日課です。走るほど心も体も楽になってきます。この経験を思うとやはり患者さんにも外に出て体を動かして欲しいと思います。ランニングは病院の仲間たちと出場する美濃市駅伝大会で現在連覇中です。

#### 自身の成長を支えてくれる美濃病院・・・

どこの病院で仕事をしても私たちは看護師です。懸命に患者さんの看護に取り組むことは同じです。

でも、やさしいスタッフや、やさしい地域の患者さんとかかわり、自分の成長を支えてくれる美濃病院に就職して良かったとしみじみと思います。

「地域医療にかかわりたい」「仕事と生活を両立したい」「仲間とチーム医療に取り組みたい」「仕事をしながらスキルアップを目指したい」と考えている人には良い環境が美濃病院には整っていると思います。